

おもな活動 中国訪問・交流

日中労働情報フォーラムは中国職工対外交流センターと交流を行っています。毎年12月13日には南京大虐殺犠牲者追悼国家公祭に参加しています。南京大虐殺記念館に市川誠初代会長が記した「日中不再戦・反覇権の誓い」の碑を2009年に建立しました。



日中職工対外交流センター彭勇秘書長と日中労働情報フォーラム伊藤彰信代表が握手（2014/12）

日中労働情報フォーラムとは

日中労働情報フォーラムは、2013年6月、日中労働者交流協会の継承組織として結成されました。1972年の日中国交正常化を受け、当時のナショナルセンター（労働組合全国中央組織）であった総評の単産と中華全国总工会との交流窓口として、1974年に日中労働者交流協会が結成されました。初代会長は市川誠総評議長（当時）、事務局長は兼田富太郎（元全港湾委員長）でした。日中労働情報フォーラムには、労働組合の活動家だけでなく、中国の労働問題、日中の友好・連帯に関心を持つ、学者、弁護士、市民が参加しています。

あなたも会員に

是非会員になってください。設立趣意書ならびに会則（ホームページに掲載）に賛同する人は誰でも会員になれます。年会費は3000円です。会員になれば、会員同士の情報交換が行えます。会のイベントには参加費無料で参加できます。また、団体の賛助会員の制度もあります。会を支えてください。1口年5000円です。

日中労働情報フォーラム

〒144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2
全港湾気付「日中労働情報フォーラム」
ファックス 03-3733-8825
メール info@chinalaborf.org
ホームページ <http://www.chinalaborf.org>
郵便振替口座 00160-4-728652
<名義> 日中労働情報フォーラム

日中労働情報 JCLIF フォーラム



南京大虐殺記念館に設置された「日中不再戦の誓い」の碑

誓い

われわれは1931年および1937年を契機とする日本軍国主義の中国侵略戦争を労働者人民の闘争によって阻止し得なかったことを深く反省し、南京大虐殺の犠牲者に対して心から謝罪するとともに、哀悼の意を表し、ご冥福を祈ります。

われわれは、日中不再戦、反覇権の決意を堅持し、子々孫々、世々代々にわたる両国労働者階級の友好発展を強化し、アジアと世界の平和を確立するため、団結して奮闘することをあらたに誓います。

公元1985年8月15日

抗日戦争及びファッショ戦争勝利40周年記念日

学習会、映画上映会の開催

中国工運研究所、中国労働関係学院、復旦大学日本研究センター、中国人留学生などと中国の労働事情、経済事情について講演、意見交換を行っています。中国人強制連行、満蒙開拓団など歴史認識と日中友好に関する学習をしてきました。また、映画「ジョン・ラーベ」の上映会を行いました。



上・張浩川（復旦大学日本研究センター副教授）講演会「中国経済セミナー」（2015/10） 下・「ジョン・ラーベ南京のシンドラ」上映会（2015/7）



ホームページに中国の労働事情が満載



<http://www.chinalaborf.org>

日中労働情報フォーラムのホームページには、中国の労働事情を掲載しています。中国労働問題の情報収集については、現在3つのルートで行われています。ひとつは、人民日報の日本語ウェブ版である人民網の中から労働問題に関する記事の要約をホームページに掲載しています。

もうひとつは、中国語の新聞から中国の労働争議、とりわけ日系企業が起こした労働問題についての情報をホームページに掲載しています。さらに日本での中国人研修生問題などを取り上げていく予定です。中国の労働問題を扱っている他の団体とのリンクも充実していきます。

会員相互の交流

会員メーリングリストを活用して、会員の活動の情報交換を行っています。

日中労働情報フォーラム設立趣意書

日本と中華人民共和国（中国）は、一衣帯水の間に隣国であり、長い伝統的友好の歴史を有しています。かつて日本は、中国に侵略し、虐殺、破壊、略奪を行い、中国国民に重大な損害を与えました。その責任を痛感し、深く反省し、1972年に日中国交正常化が図られました。いまや日中両国の交流は、あらゆる分野で発展しています。日本の最大の貿易相手国は、いまやアメリカではなく中国です。これからの日本を考える場合、中国との関係を抜きに考えることはできません。

日本と中国の労働者の交流は、日中国交正常化以前から交流を築いてきた労働組合を中心に1974年に日中労働者交流協会が設立されてから、本格的に開始されるようになりました。同協会は、日中両国労働者の人事交流、労働者組織の運動経験の交流、資料文献の交換、学習を通じて日本労働運動の階級的発展をはかり、日中友好、両国労働者階級の友好と連帯の強化推進をはかることを目的にしていました。日中関係が多方面にわたり、盛んに交流が行われるようになった現在、日中労働者の相互訪問を軸とした交流は一定の役割を終えたと言えます。今後は、日中労働事情に焦点をあてた労働者交流の継続をはかることが必要です。

当フォーラムは、幅広く、中国における労働者の状況、労働運動の状況、日本における中国人労働者の状況などに関する情報を収集、交換、共有し、中国労働者に関する理解を深めることによって、日中労働者階級の友好と連帯をはかります。日本の労働者のみならず、中国労働事情に関心のある研究者、中国と交流関係がある方々に参加をいただき、日中労働者の相互理解をはかり、日中友好交流を深化し、両国の平和と繁栄に寄与したいと考えます。

2013年6月1日